

平成29事業年度事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1. 事業活動

(1) 公益目的事業

本事業については、研究開発助成等として12件21,447千円(表Ⅰ)、海外に対する普及協力及び国際交流等助成として1件1,500千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として19,053千円(表Ⅲ)、合計で前年度と同額の42,000千円の助成を実施した。

(単位:千円)

助成項目	平成29年度	平成28年度	対前年度比
研究開発助成等(表Ⅰ)	21,447	21,613	△ 166
海外に対する普及協力及び国際交流等助成(表Ⅱ)	1,500	1,900	△ 400
放送大学の学生に対する助成(表Ⅲ)	19,053	18,487	566
合計	42,000	42,000	0

表Ⅰ 研究開発助成等

研究開発事業名	申請代表者	所属大学・職名
放送大学の効果的な学生増加方策の検証及び学習環境のユニバーサルデザイン化の研究について	岡田 光正	放送大学 副学長
放送大学オンライン科目の携帯端末視聴システムに関する研究(3-3)	鈴木 一史	放送大学 准教授
サイバー空間におけるセキュリティの研究(3-2)	高橋 和夫	放送大学 教授
放送大学オンライン科目で音声添削を行うためのシステム改良(3-2)	大橋 理枝	放送大学 准教授
放送大学における子育て支援科目の充実と体系化に関する研究(2-2)	大曾根 寛	放送大学 教授
放送大学エキスパート制度活用による企業・地域連携の開発研究	坂井 素思	放送大学 教授
学生の映像視聴反応を利用した双方向型遠隔学習支援モバイルシステムの開発と運用(2-1)	芝崎 順司	放送大学 教授
心理療法家養成におけるオンライン・スーパービジョンの研究	大山 泰宏	放送大学 教授
ネット時代における双方向TV放送授業の実現と評価	近藤 智嗣	放送大学 教授
遠隔「研究(指導)」実践過程の記述:放送大学大学院「研究指導」科目を対象に(3-1)	高橋 秀明	放送大学 准教授
タブレット端末とYoutubeを活用した簡易的授業補完映像副教材の作成とその効果測定(2-1)	井出 訓	放送大学 教授
情報系教育におけるプログラミングドリル教材支援システムの開発と教育手法に関する研究(3-3)	館 宜伸	金沢工業大学 基礎教育部基礎実技教育課程 情報基礎教育研究センター 講師

表Ⅱ 海外に対する普及協力及び国際交流等助成

事業名	申請代表者名	所属大学・職名
ブータン王立大学との国際交流協定に基づくオンライン科目共同制作を通じた放送大学教材のブータンへの普及・協力事業(3-2)	河合 明宣	放送大学 教授

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

① 学生団体活動への助成 (サークル情報誌、活動連絡等に係る経費の一部補助)
② 学生研修旅行への助成 (研修旅行に係るバス借上費等に係る経費の一部補助)
③ 放送大学同窓会連合会等が行う学生支援事業に対する助成 (学生相談会等の学生支援事業に係る経費の一部補助)
④ 障がいのある学生に対する学習環境の整備に対する助成 (特別枠) (視覚障がい者用・聴覚障がい者用・肢体不自由者用支援機器の整備)

(2) 印刷教材出版・頒布事業

本事業については、平成30年度新刊本(73科目)154.1千部、既刊本262.7千部、合計416.8千部を頒布した。学園への納入部数は、学部326.3千部、大学院10.0千部の合計336.3千部で対前年度比10.7千部の増加、市販部数は学部70.8千部、大学院9.8千部の合計80.5千部で対前年度比2.0千部増加した。この結果、合計では、対前年度比12.7千部の増加となった。

(単位:部)

区 分	内 訳	平成29年度	平成28年度	対前年度比
放送大学学園納入部数	学部	326,255	314,200	12,055
	大学院	10,035	11,400	△ 1,365
	計	336,290	325,600	10,690
市販部数	学部	70,759	70,556	203
	大学院	9,787	7,985	1,802
	計	80,546	78,541	2,005
合 計		416,836	404,141	12,695

(3) 放送教材複製・頒布事業

本事業については、授業科目について、新刊105枚、既刊600枚の計705枚、特別講義については、既刊6枚で、合計711枚を複製・頒布した。新規複製授業科目数が大幅に減少(17科目⇒7科目)した結果、放送教材の複製頒布数は、対前年度比1,452枚減少の711枚となった。

(単位:枚)

区 分	内 訳	平成29年度	平成28年度	対前年度比
放送教材	授業科目	705	2,145	△ 1,440
	特別講義	6	18	△ 12
	計	711	2,163	△ 1,452

2. 事業活動収支状況

(1) 印刷教材出版・頒布事業

本事業による収益は、放送大学への納入部数及び市販部数の増加により対前年度比18,395千円増加の605,022千円となった。

一方印刷教材作成費は、新規開設科目数の増加(63科目⇒73科目)により対前年度比25,840千円増加の272,106千円となり、この結果収支は、対前年度比7,446千円減少の332,916千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比
印刷教材出版・頒布事業収益	605,022	586,627	18,395
印刷教材作成費	272,106	246,266	25,840
収 支 ①	332,916	340,362	△ 7,446

(2) 放送教材複製・頒布事業

本事業による収益は、新刊の授業科目の頒布が大幅に減少したことにより、対前年度比13,138千円減少の8,296千円となった。

一方放送教材作成費は、頒布数量の減少に伴い、対前年度比9,468千円減少の6,066千円となり、この結果収支は、対前年度比3,670千円減少の2,230千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比
放送教材複製・頒布収益	8,296	21,434	△ 13,138
放送教材作成費	6,066	15,534	△ 9,468
収 支 ②	2,230	5,900	△ 3,670

(3) 資産運用益等

基本財産・特定資産(放送教育振興基金)及びその他の投資有価証券の資金運用益等は、税制改正に伴い売却した債券の売却益(35,000千円)及び満期償還益(3,594千円)等により対前年度比42,060千円増加の76,727千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比
資産運用益	76,400	32,639	43,761
その他雑収益等	326	2,028	△ 1,702
計 ③	76,727	34,667	42,060

(4) 助成事業・管理費等

助成事業は、前年度と同額。事業管理費支出については、人件費の増加に伴い対前年度比12,769千円増加の289,025千円、管理費支出については、対前年度比微増の35,164千円となり、これらの支出の合計は、対前年度比12,913千円増加の366,189千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比
助成事業支出	42,000	42,000	0
事業管理費支出	289,025	276,256	12,769
管理費支出	35,164	35,020	144
支出計 ④	366,189	353,276	12,913

(5) 収支の状況

以上の結果、当期の経常増減額は、対前年度比18,030千円増加の45,683千円となった。

一方、当期一般正味財産増減額では、保有有価証券の時価評価額が32,550千円の評価損が生ずるとともに、法人税等5,334千円を納付した結果、対前年度比9,266千円減少の7,799千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比
事業収支合計 ⑤(①+②+③)	411,873	380,929	30,944
助成事業・管理費等支出合計 (④)	366,189	353,276	12,913
当期経常増減額 ⑥(⑤-④)	45,683	27,653	18,030
投資有価証券評価損益等 ⑦	△ 32,550	6,480	△ 39,030
法人税等 ⑧	5,334	17,068	△ 11,734
当期一般正味財産増減額 ((⑥+⑦)-⑧)	7,799	17,064	△ 9,266

3. 正味財産期末残高

上記の結果、平成29年度の正味財産期末残高は、2,863,880千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	対前年度比
正味財産当年度末残高	2,863,880	2,856,081	7,799

4. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」については、該当の事項はない。

(注)

- 1 消費税は、税抜き表示。
- 2 表の計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と合致しないものがある。